



Cisco HX ストレージ クラスタのモニタリング

- [HyperFlex クラスタのモニタリング \(1 ページ\)](#)
- [HX Connect を使用した HyperFlex クラスタのモニタリング \(1 ページ\)](#)

HyperFlex クラスタのモニタリング

この章では、HX ストレージ クラスタ 次のインターフェイスを通じて利用できるモニタリングの内容について説明します。

- Cisco HX 接続
- Cisco HX データ プラットフォーム プラグイン
- ストレージ コントローラ VM コマンドライン

HX Connect を使用した HyperFlex クラスタのモニタリング

Cisco HX 接続 ユーザー インターフェイスは、HX ストレージ クラスタ のステータス、コンポーネント、および機能のビューを提供します。

主要なモニタリング ページには、ローカルの Cisco HX ストレージ クラスタ に関する情報が含まれています。

- [Dashboard] : Cisco HX ストレージ クラスタ ステータスの概要です。
- [Alarms, Events, Activity] : 詳細は、Cisco HyperFlex システム トラブルシューティング ガイドを参照してください。
- [Performance] : IOPS、スループット、遅延、およびレプリケーション ネットワーク 帯域幅のグラフ。
- [System Information] : システムの概要、およびノードとディスクのステータスとタスク。

サポートバンドルを生成するにはCisco HyperFlex システム [トラブルシューティング ガイド](#)、メンテナンス モードを起動および終了するには[ストレージクラスタのメンテナンス操作の概要](#)、ノードまたはディスクのビーコンを設定するには[ビーコンの設定](#)を参照してください。

- [Datastores] : データストアに関連するステータスおよびタスク。


[アップグレード (Upgrade)] ページは、HX データ プラットフォーム アップグレード タスクへのアクセスを提供します。


[ダッシュボード (Dashboard)] ページ



重要 読み取り専用ユーザの場合は、ヘルプに記載されているすべてのオプションが表示されないことがあります。HyperFlex (HX) Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者権限が必要です。

HX ストレージクラスタのステータスの概要が表示されます。これは、Cisco HyperFlex Connect にログインすると最初に表示されるページです。

UI 要素	基本的な情報
[動作ステータス (Operational Status)] セクション	<p>HX ストレージクラスタの機能ステータスとアプリケーションパフォーマンスが表示されます。</p> <p>[情報 (Information)] (情報アイコン) をクリックして、HX ストレージクラスタ名とステータス データにアクセスします。</p> 
[Cluster License Status (クラスター ライセンスの状態)] セクション	<p>HX ストレージクラスタに初めてログインしたとき、または HX ストレージクラスタ ライセンスが登録されるまでに、次のリンクが表示されます。</p> <p>クラスター ライセンスが登録されていないリンク : HX ストレージクラスタが登録されていない場合に表示されます。クラスター ライセンスを登録するには、このリンクをクリックし、[Smart Software Licensing Product Registration (スマートソフトウェア ライセンス製品登録)] 画面で製品インスタンス登録 トークンを指定します。製品インスタンス登録 トークンを取得する方法の詳細については、『Cisco HyperFlex システム インストールガイド』の「スマートライセンスへのクラスタの登録」セクションを参照してください。</p>

UI 要素	基本的な情報
[復元力ヘルス (Resiliency Health)]セクション	HX ストレージクラスタのデータヘルスステータスと耐障害性が表示されます。 [情報 (Information)] (情報アイコン) をクリックして復元力ステータスと、レプリケーションおよび障害データにアクセスします。 
[容量 (Capacity)]セクション	ストレージ合計の内訳と使用中または未使用のストレージ容量が表示されます。 また、ストレージの最適化、圧縮による節約、およびクラスタに格納されているデータに基づく重複排除比率も表示されます。
[ノード (Nodes)]セクション	HX ストレージクラスタにおけるノード数とコンバージドノード対コンピューティングノードの区分が表示されます。ノードアイコンの上にカーソルを合わせると、ノードの名前、IP アドレス、ノードタイプが表示されます。また、容量、使用率、シリアル番号、およびディスクタイプデータにアクセスできるディスクがインタラクティブに表示されます。
[パフォーマンス (Performance)]セクション	設定可能な時間の HX ストレージクラスタのパフォーマンススナップショットが表示され、IOPS、スループット、および遅延データが示されます。 詳細については、[パフォーマンス (Performance)] ページを参照してください。
[クラスタ時間 (Cluster Time)] フィールド	クラスタのシステム日時。

テーブルヘッダーの共通フィールド

HX Connect 内のいくつかのテーブルには、テーブルに表示される内容を左右する次の 3 つのフィールドのどれかが表示されます。

UI 要素	基本的な情報
[更新 (Refresh)] フィールドとアイコン	HX クラスタの動的更新では、テーブルが自動的に更新されます。タイムスタンプは、テーブルが最後に更新された時刻を示します。 コンテンツを今すぐ更新するには、円形アイコンをクリックします。

UI 要素	基本的な情報
[フィルタ (Filter)] フィールド	<p>入力したフィルタ テキストと一致するリスト項目のみがテーブルに表示されます。以下の表の現在のページに一覧表示されている項目は自動的にフィルタ処理されます。入れ子になったテーブルはフィルタ処理されません。</p> <p>[フィルタ (Filter)] フィールドに選択テキストを入力します。</p> <p>[フィルタ (Filter)] フィールドを空にするには、[x] をクリックします。</p> <p>テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックしてフィルタを適用します。</p>
[エクスポート (Export)] メニュー	<p>テーブルデータの現在のページのコピーを保存します。テーブルコンテンツは、選択したファイルの種類でローカルマシンにダウンロードされます。リストの項目をフィルタ処理すると、フィルタ処理されたサブセットリストがエクスポートされます。</p> <p>エクスポート ファイルの種類を選択するには、下向き矢印をクリックします。ファイルの種類オプションは、csvs、xls、および doc です。</p> <p>テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックしてエクスポートを適用します。</p>

[Activity] ページ

HX ストレージクラスタ上の最近のアクティビティのリストを表示します。これにより、VM の動作、クラスタのアップグレード/拡張、およびメンテナンス モードの開始/終了の進捗状況をモニタできます。

UI 要素	基本情報
[Activity] リスト	<p>次の詳細を含む最近のタスクの一覧が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ID • 説明 • VM 電源のオン/オフ/一時停止ステータス • タスク ステータス : <ul style="list-style-type: none"> • 進行中 (In Progress) • 成功 • 不合格 <p>VM 電源の操作に失敗した場合は、[Existing State] フィールドと [Required State] フィールドも含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日時スタンプ • Progress bar <p>展開された [Activity] リストには、タスクのステップ名とステータスが表示されます。</p> <p>コンテンツを今すぐ更新し、最近のアクティビティを取得するには、円形のアイコンをクリックします。ページは2分ごとに自動的に更新されます。</p>
[Expand All] と [Collapse All] ボタン	<p>ジョブ リストのビューを切り替えて、最上位のタスク情報またはタスク詳細を表示します。</p> <p>個別のタスクを展開したり折りたたんだりすることもできます。</p>

[システム情報の概要 (System Information Overview)] ページ

ノードとディスクのデータを含めた HX ストレージクラスタ システムに関連する情報を表示し、HX メンテナンス モードへのアクセスを提供します。

HX ストレージクラスタ構成データ

この HX ストレージクラスタの基本的な構成情報が表示されます。

UI 要素	基本情報
[HX ストレージクラスタ (HX storage cluster)] フィールド	このストレージクラスタの名前です。

UI 要素	基本情報
[HX ストレージクラスタステータス (HX storage cluster status)] フィールド	HX ストレージクラスタの機能ステータスを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : クラスタの準備ができています。 • [オフライン (Offline)] : クラスタの準備ができていません。 • [読み取り専用 (Read Only)] : クラスタでスペースが不足しています。 • [不明 (Unknown)] : クラスタがオンラインになるときの移行状態です。
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] フィールド	この HX ストレージクラスタにインストールされているハイパーバイザのバージョンです。
[HXDP バージョン (HXDP Version)] フィールド	この HX ストレージクラスタにインストールされているインストーラパッケージのバージョンです。
[稼働時間 (Uptime)] フィールド	この HX ストレージクラスタがオンラインになっている時間の長さです。
[総容量 (Total Capacity)] フィールド	このクラスタの全体的なストレージサイズです。
[使用可能な容量 (Available Capacity)] フィールド	このクラスタの空きストレージの容量です。
DNS サーバ	この HX ストレージクラスタの DNS サーバの IP アドレスです。
NTP サーバ (NTP Server(s))	この HX ストレージクラスタの NTP サーバの IP アドレスです。

コントローラ VM アクセス

管理者として SSH を使用してコントローラ VM にアクセスできます。アクセスを有効にするには、ページの上にある [Action (アクション)] をクリックして、SSH アクセスを有効にします。

ノード データ

この HX ストレージクラスタ内の個々のノードに関するデータが表示されます。この情報を表形式で表示するには、[ノード (Nodes)] ページに移動します。

UI 要素	基本情報
[ノード (Node)] フィールド	このクラスタ上のノードの名前です。

UI 要素	基本情報
[ハイパーバイザ アドレス (Hypervisor Address)] フィールド	この HX ストレージクラスタの管理ネットワークで使用する IP アドレスです。
[ハイパーバイザ ステータス (Hypervisor Status)] フィールド	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : ノードは使用できます。 • [オフライン (Offline)] : ノードは使用できません。 • [メンテナンス中] : 実行中 (および電源がオフ) になっているノードは、ホストから切断されています。 • [進行中 (In Progress)] : バックアップ ジョブが進行中です。
コントローラのアドレス	この HX ストレージクラスタのネットワーク コントローラが使用する IP アドレスです。
コントローラのステータス	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : VM とディスクの間の接続を使用できます。 • [オフライン (Offline)] : VM とディスク間の接続は使用できません。 • [メンテナンス中 (In Maintenance)] : VM とディスクの間の接続はホストから電源がオフになります。 • [進行中 (In Progress)] : バックアップ ジョブが進行中です。
[モデル (Model)] フィールド	このノードの物理ハードウェアのモデル番号です。
[HXDP バージョン (HXDP Version)] フィールド	このノードにインストールされているインストーラ パッケージのバージョンです。
[ディスク (Disks)] フィールド	このノードの永続的なディスクおよびキャッシュ ディスクの数です。

ディスクがあるノードでは、ディスクの上にカーソルを置くと、次のような情報がインタラクティブに表示されます。

ディスク

UI 要素	基本情報
スロット番号	ドライブの場所 (たとえば、スロット番号 2)。
ディスクのタイプ	システム、キャッシュ、または永続

UI 要素	基本情報
ディスクの状態	<ul style="list-style-type: none"> • 請求済み • 応対可 • 無視 • ブラックリスト • OK して削除 • 不明
[ロケータ LED (Locator LED)]	ディスクを探すために役立つホスト上の物理光を有効にします。オプションは、[On] と [Off] です。
容量	ディスク サイズの合計です。
[使用済み/総容量 (Used / Total Capacity)] (永続ディスクのみ)	合計ディスク サイズに対する使用されているディスクの容量です。
シリアル番号 (Serial Number)	このディスクの物理シリアル番号です。
[ストレージ使用率 (Storage Usage)] (永続ディスクのみ)	使用されているディスク ストレージの割合です。
バージョン	ディスク ドライブのバージョン。
ディスク ドライブ インターフェイス	ディスク ドライブのインターフェイスタイプ (たとえば、SAS または SATA)。

[ノード (Nodes)] ページ

表にこの HX のストレージクラスタ内のすべてのノードに関するデータが表示されます。それぞれの列 (カラム) を基準にデータをソートできます。

UI 要素	基本的な情報
[HX メンテナンス モードの開始 (Enter HX Maintenance Mode)] ボタン	このボタンにアクセスするノードを選択します。 [HX メンテナンス モードの確認 (Confirm Maintenance Mode)] ダイアログボックスが開きます。
[HX メンテナンス モードの終了 (Exit HX Maintenance Mode)] ボタン	このボタンにアクセスするノードを選択します。 すべてのメンテナンス タスクを完了した後、手動で HX メンテナンス モードを終了する必要があります。
[ノード (Node)] カラム	この HX ストレージクラスタ内のノードの名前。

UI 要素	基本的な情報
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] カラム	[ノード (Node)] 列で参照されるノードの管理ネットワークの IP アドレス。
[Hypervisor Status] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : ノードは使用できます。 • [オフライン (Offline)] : ノードは使用できません。 • [メンテナンス中] : 実行中 (および電源がオフ) になっているノードは、ホストから切断されています。 • [進行中 (In Progress)] : バックアップ ジョブが進行中です。
[Controller Address] カラム	[ノード (Node)] 列で参照されるノードの HX ストレージ コントローラ VM の IP アドレス。
[Controller Status] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : VM とディスクの間の接続を使用できます。 • [オフライン (Offline)] : VM とディスク間の接続は使用できません。 • [メンテナンス中 (In Maintenance)] : VM とディスクの間の接続はホストから電源がオフになります。
[モデル (Model)] カラム	このノードの物理ハードウェアのモデル番号。
[バージョン (Version)] カラム	HyperFlex データ プラットフォーム このノードにインストールされているインストーラ パッケージのバージョン。
[ディスク (Disks)] カラム	ノード内のディスクの数。 数値をクリックすると、選択されたノード名でフィルタリングされた [ディスク (Disks)] ページが開きます。

[Disks] ページ

7列の表にこの HX のストレージクラスタ内のすべてのディスクに関するデータが表示されます。各列をデータの並べ替えに使用できます。

UI 要素	基本情報
[Node] カラム	ディスクが存在するノードの名前です。
[Slot] カラム	SED ドライブの場所です。これはメンテナンス作業のためのドライブを識別します。
[Capacity] カラム	ディスク サイズの合計です。

UI 要素	基本情報	
[Status] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • [Available] : 新しく追加された、保管中データ対応のディスクの初期の状態です。また、他の状態のいずれかにディスクが移動するときの移行状態です。 • [Blacklisted] : ソフトウェアのエラーまたはI/Oエラーが原因でディスクがクラスタによって使用されていないときの状態です。これは、ディスクがまだ利用可能な場合、クラスタがディスクを修復しようとしており、[Repairing] の状態に移行する前の移行状態である可能性があります。 • [Claimed] : ディスクが認識され、使用中の状態です。 • [Ignored] : ディスクがクラスタによって使用されていない状態です。たとえば、HX コントローラ VM システム ディスク、他のデータ（有効なファイルシステムパーティション）を含むディスク、またはI/Oの障害が発生しているディスクです。 • [Repairing] : ブラックリスト登録済みディスクが現在修復されている状態です。 • [To Be Removed] : ディスクがRMA にスケジュールされているときの状態です。 	<p>次の状態は無視できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 標準 • [Removed] : [Secure Erase] オプションを使用した後に SED ディスクが削除された状態です。 • 時間切れ • 不明
[Type] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • 不明 • [Rotational] : ハイブリッドドライブ • [Solid State] : SSD ドライブ 	

UI 要素	基本情報
[Usage] カラム	<ul style="list-style-type: none">• 不明• Cache• 永久的 (Persistent)
[Turn On Locator LED] および [Turn Off Locator LED] ラジオ ボタン	ラジオ ボタンにアクセスするには、ディスクを選択します。 ディスクを探すために役立つホスト上の物理光またはビーコンを、アクティブ化または非アクティブ化します。

